



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) **真実**かどうか
- 2) **みんなに公平**か
- 3) **好意と友情**を深めるか
- 4) **みんなのためになる**かどうか

第 2014 回例会(平成 25 年 7 月 23 日)

会長挨拶

宮内 博

こんにちは。この一週間は涼しい日が続き、猛暑が一休みで過ぎやすかったのですが、このような時こそ夏風邪に注意する必要があります。みなさんには体調管理に留意され、健康でこの夏を乗り切っていただきたいと思ひます。

昨日月曜日は宮内幸雄会員にお願いして東クラブ主催のサンセットクルーズを開催しました。大勢の会員や家族が参加され、楽しいひと時を過ごすことができました。

日中は穏やかでしたが、出航する時には風が強くなり少し波は高かったのですが、海から見る銚子の景色は格別でした。残念ながらイルカには会えませんでした。宮内さんのスタッフの立ち振る舞いがとても好感がもて、とても清々しい気持ちになれました。人をもてなす気持ちが観光では一番大切なものであることを実感しました。

今後もイルカウォッチングが銚子の観光の目玉として、牽引して頂ける様、我々も応援しなければと思わされたひと時でした。

親睦委員会の皆さんには企画から準備と大変お世話になりました。有難うございました。

本日はロータリーの標語についてお話しします。ロータリーの公式標語には「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の二つがあります。1911 年、オレゴン州ポートランドで開催された全米ロータリー・クラブ連合会の第二回ロータリー大会で「He Profits Most Who Serves Best」がロータリーの標語として承認されました。これは、前年にシカゴで開かれた第一回ロータリー大会で、ロータリアンのアーサー・フレデリック・シェルドンが行った演説を基に作られた標語です。シェルドンはその演説の中で次のように語っています。「他者に対する正しい経営の科学のみが引き合うのだ。経営とは人間的の奉仕の科学である。その仲間にも最もよく奉仕する者が最も多く報いられる」

ポートランドでのロータリー大会は、もう一つの標語「超我の奉仕」が誕生するきっかけともなりました。大会中にコロンビア川でボート乗りを楽しんでいたミネソタ州ミネアポリス・ロータリー・クラブの会長、ベン・

コリンズは、シアトルのロータリアン、J. E. ピンカムと、ロータリー・クラブを組織するのにふさわしい方法について話し合っていました。その中でコリンズは、自分のクラブで採用していた理念「無私の奉仕 (Service, Not Self)」を紹介しました。ピンカムは、同じボートに乗っていたポール・ハリスを呼んで会話を続けました。ハリスから依頼されコリンズは大会で演説を行い、この文言「無私の奉仕」が熱烈に歓迎されたのです。

この 2 つの標語は、1950 年にデトロイトで開催された RI 国際大会で、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (He Profits Most Who Serves Best)」と「超我の奉仕 (Service Above Self)」に修正され、ロータリーの公式標語として正式に承認されました。

1989 年の規定審議会では、「超我の奉仕」がロータリーの第一標語として採択されました。これは、この言葉が利己的でなく、ボランティア奉仕の哲学を最もよく言い表しているとの理由からです。一方、「He Profits Most Who Serves Best」は、2004 年規定審議会で R が採択しているすべての公式文書に性別限定用語を使わないということに基づいての He を They に変更し、「They Profit Most Who Serve Best」に修正され、2007 年規定審議会で R の歴史的な遺産として尊重し、原文をそのまま後世に引き継ぐということ they を he とすること即ち原文に戻すことを RI 理事会に検討するよう要請する決議が採択されたが、RI 理事会は、これを one とする決議を 2010 年規定審議会に提出し、採択され、現在の標語「One Profits Most Who Serves Best」となりました。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・クラブ米山記念奨学委員長セミナーのご案内
 - ・地区ロータリー情報研究会のご案内
 - ・地区大会のご案内 受領
 - 2・ガバナーエレクト事務所より
 - 事務所開設のご案内 受領
- ☆週報受領 鹿島臨海RC

卓 話

「ふじ丸で航く初夏の日本一周クルーズⅡ」

宮内 宗一 会員

先週は輪島までお話ししましたが、今日は第二週目のお話をします。

5 月 13 日今回は島根県浜田港に午前 10 時入港する。いつも境港入港が多かったのですが、次の行程により浜田入港となりました。これ



から先1泊2日の観光に分れ各自の希望により、Aコース津和野・萩、Bコース萩・巖流島、Cコース呉・広島・宮島と三コースにて夫々バスに分乗し目的地に向い、その日だけホテルに一泊し、翌日16時までにはふじ丸に合流17時出港とのことです。私はCコースでしたので浜田自動車道を下り呉市に向う。

呉は初めてであり江田島と向い合う戦中は日本一の軍港だったところ、旧海軍ゆかりの入船山記念館へ研修、旧呉鎮守府司令長官室及東郷元帥が参謀長の時住んでいた質素な住居の縁側に腰をかけ、しばし庭を見て昔を思います。旧呉海軍工廠塔時計が今も時を刻んでいました。

有名な戦艦大和の大和ミュージアムへ行く。大和ミ

ュージアムは日本近代化の礎となった造船、製鋼をはじめとした科学技術の発展を紹介する人気スポット。呉は戦艦大和のふるさとであり、日本人にとって「大和」



戦艦大和

は兵器としてでなく神話として心に刻まれたのだと館長はおっしゃっています。入るとすぐ実物1/10のすばらしい実物そっくりの大和が迎えてくれる、驚くほど精巧に出来ている。大和は昭和16年12月16日完工、69,100トン、展示されている大和は全長26.3メートルです。展示室には他に実物の特殊潜航艇「海龍」、零戦とか戦中活動した特攻兵器がずらりと並んでいた。私の様な1年でも軍隊にいた経験者にとっては驚きの連続であった。その他、街の道路の真正面にデンと据え付けられている鉄のくじら館(これは海上自衛隊が使っていた潜水艦、「あきしお」2,250トン)だそうで、平成16年まで就役、平成18年に現在地にクレーン船で吊り上げ据付けたそうです。なんとも呉らしいすばらしいアイデアですね。その日は広島のホテルに泊る。久しぶりに船から離れホテル泊まり、何か心がゆったりして酒がうまかった。

翌朝5月14日は9:00ホテル出発、宮島の巖島神社を参拝する。連絡船をおりてから神社までの往復歩いたが思ったより距離があり疲れて大変だ



旧東郷邸



旧呉海軍工廠塔時計

は兵器としてでなく神話として心に刻まれたのだと館長はおっしゃっています。入るとすぐ実物1/10のすばらしい実物そっくりの大和が迎えてくれる、驚くほど精巧に



巖島神社

った。平清盛のテレビ等の影響もあり参拝客も多勢、建物のすばらしさ、流石国宝になり世界遺産になるわけだと感銘する。

宮島より今度は岩国へ向う。「世界に誇る名橋」とたたえられる錦帯橋、木造5連のアーチが描く曲線はあたりの景色と見事に調和、その山紫水明の景観にしばし見とれる。すばしいなああと心から思った。岩国からふじ丸の待つ門司までバスの旅16時30分帰船する。17時門司港出港、いよいよ最後の寄港地高知へ向う。途中、関門海峡大橋を通過する。

5月15日午前7時高知新港に入港する。入港歓迎のため岸壁に多勢の市民の出迎え、天幕をはった物産展、坂本龍馬のマスコットキャラもお迎え有難う。私も坂本龍馬と並んで写真を撮る。

下船後まず高知城へ行く。前田、天守閣へ上ったので今回は大手門へ行き、大手門と天守閣そしてこの高知城を築いた山内一豊の像前にて昔をしのぶ。高知へ来たなら有名なよさこい節にも歌われた「はりまや橋」へと足を運ぶ。今は人工の堀川が流れている。きれいに出来た朱の橋。その脇にくじらが2頭、歌の間にくじらの潮吹きがあり情緒豊か。なごやかさがあつた。

最後に太平洋に突き出た龍頭岬と龍王岬の間に弓状の緩やかな砂の浜柱浜を見る。月の名所だそうです。坂本龍馬の銅像が有名です。

12時30分高知新港出港。

市民の皆様の見送り、幼稚園児の子供たちのよさこい踊りと高知県立南高校吹奏楽部マーチング演奏におくられ帰途に着く。高知より東京港まで27時間直行のクルージング、5月16日午前中ビンゴ大会、大運動会等に興じているうち、15時東京へ入港しました。

9日間の旅、長いようで短い、一日一日充実した旅でした。9日間で約47,000歩位歩き、体調も整い天候に恵まれ、いつもにぎやかに話をしながら歩き、楽しく食事をした二人の良き友達にも恵まれた楽しい船旅でした。これで私のクルーズ報告を終わります。御静聴有難うございました。



金帯橋



高知港



高知城大手門



桂柱浜

——ニコニコ——

宮川雅夫君

昨日のサンセットクルーズへの参加、ご苦勞様でした。家族共々楽しませていただきました。ありがとうございました。

サンセットクルーズ・家族親睦会

平成 25 年 7 月 22 日 (月) 17:30~
クルーズ：銚子マリーナ 懇親会：犬吠埼ホテル



「フリッパー号」



第 1 回定例理事役員会

日 時：平成 25 年 7 月 23 日 (火) 例会終了後
議 題

- 1・千葉科学大学留学生交流会収支決算書の件 承認
- 2・12-13 年度決算報告並びに監査報告承認の件 承認
- 3・13-14 活動計画並びに収支予算案承認の件 承認
- 4・財産目録承認の件 承認
- 5・例会休会の件 8 月 13 日 (火) お盆 承認
- 6・8 月例会スケジュールの件 承認
- 7・銚子リトルリーグ助成金の件 承認
- 8・社会奉仕委員会に関する助成金の件 承認
- 9・合同スポーツ大会の件 承認
- 10・免除会員の件 宮内勝利会員 承認

8 月例会スケジュール

- 第 1 例会 8 月 6 日 卓話「未定」中川 進 会員
- 第 2 例会 8 月 13 日 休会 (お盆)
- 第 3 例会 8 月 20 日 卓話「未定」星野 隆 会員
- 第 4 例会 8 月 27 日 卓話「未定」土井英二 会員

前回の例会 (7/23) 報告

点 鐘 宮内 博 会長

出席報告

会員総数	42 名	出席規定除外数	7 名
出席者	25 名	出席率	65.79 %
7月9日		確定出席率	74.36 %

来訪ロータリアン

櫻井公恵君 佐藤直子君 (銚子RC)

欠席者 12名

メークアップ

網中君 藤崎君 平野君 堀君 石上君 石毛君
石井君 狩野君 宮川君 宮内(博)君(7/23理事会)
澤田君 (7/24銚子RC)

スモールコインBOX	小 計 ¥ 2,230-
	累 計 ¥ 9,761-
ニコニコBOX	小 計 ¥ 8,000-
	累 計 ¥ 63,000-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789
メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室
 会長 宮内 博 副会長 石井 哲也 幹事 釜谷 藤男
 クラブ広報・会報委員会 宮内 勝利・佐野 幸雄・宮内 宗一・杉浦 武
 表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦 (古帳庵 古帳女) が銚子に遊んだときに
詠んだもので、この碑は圓福 (円福) 寺に現存する。